

平成 28 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における木津中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 28 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- （１）子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （２）各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- （３）各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年の原則として全生徒
- ・木津中学校では、2 年生 43 名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様） 中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8 種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立木津中学校

生徒数

43

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	29.68	30.37	34.79	51.37		87.28	7.88	197.11	19.26	41.94
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	22.96	22.22	40.79	45.38		57.38	8.93	171.04	13.33	48.92
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

男子は、全8種目中握力・上体起こし・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とびは、全国平均を上回っており、反復横とびは全国平均とほぼ同じ、長座体前屈・ハンドボール投げは全国平均を下回る結果であった。女子は、全8種目中、立ち幅とび・ハンドボール投げは全国平均を上回り、握力・50m走は全国平均とほぼ同じ、上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルランは全国平均を下回る結果であった。体力合計点は、男女ともに全国平均をわずかに下回ったが男子は大阪市平均より高い値であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

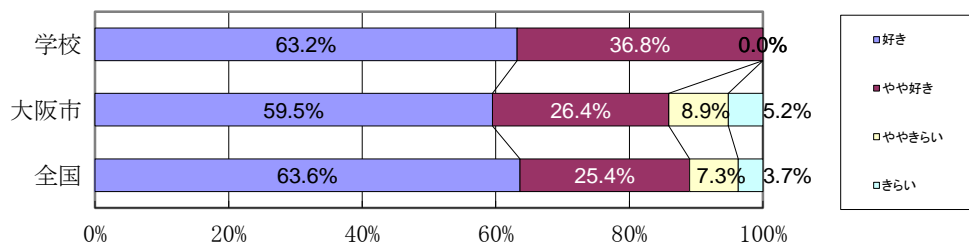
男女ともに、運動やスポーツが好きな生徒が多く、体育の授業に熱心に取り組み、体育大会・水泳大会・球技大会等の体育的行事にも意欲的に取り組み、運動・スポーツへの興味・関心は高い。体育の授業においては、準備運動に柔軟性や筋力を高めるための補強運動を取り入れている。体づくり運動や体を動かすことを重視した成果が表れている一方、長座体前屈は今年度も全国平均を下回り、課題となっている。特に、柔軟性については短期間に改善されるものではなく、幼少期からの習慣的なトレーニングが必要とされるため、今後小学校との連携を深めていきたい。「運動やスポーツが好き」「体育の授業が好き」の肯定的回答の高い水準を維持し、今後一部運動の苦手な生徒にも、運動の楽しさを体感させるような指導方法の工夫を行う。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

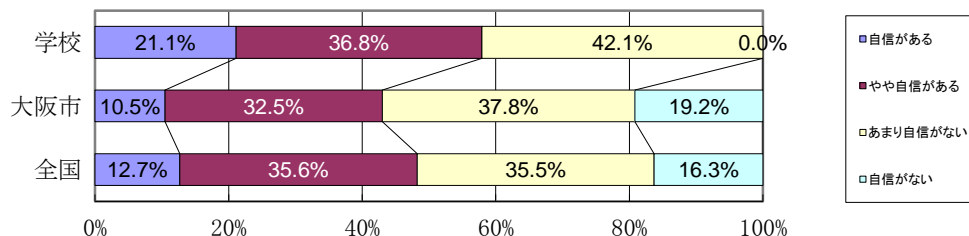
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



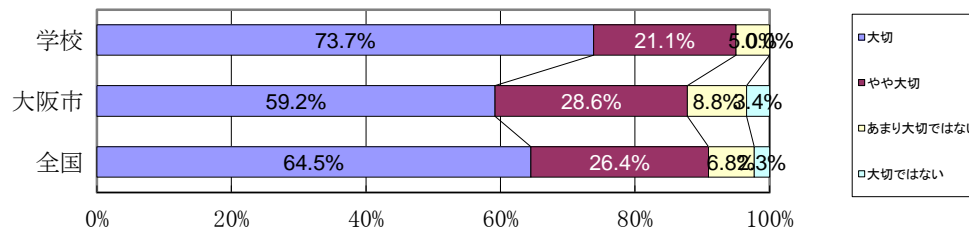
2

自分の体力に自信がありますか



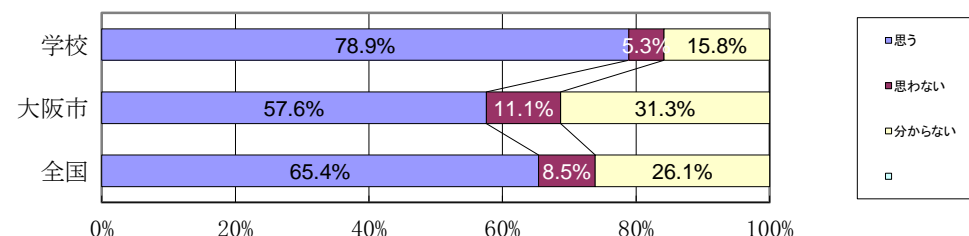
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



成果と課題

「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対する肯定的な回答が100%である。また、体力に自信を持っている生徒の割合も全国平均より高い。運動やスポーツが大切、中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う生徒の割合も全国平均を上回り、運動への興味・関心が高く、運動の重要性についても十分理解していると考えられる。

今後の取組

体育の授業や体育的行事に積極的に参加しており、運動に対する意識は高い。今後も、体力づくりの目標を持たせ、生徒が意欲を持って取り組めるように授業内容や効果的な指導方法の工夫に努める。

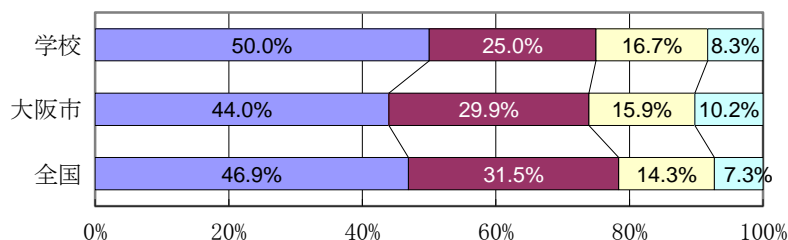
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

1

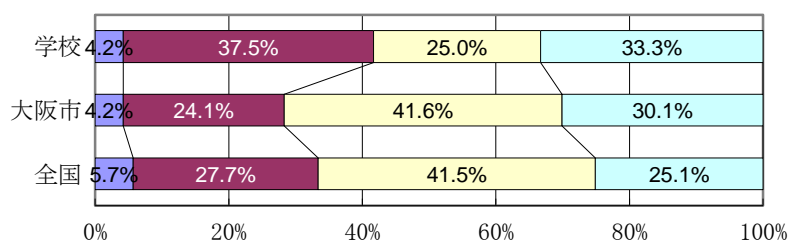
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□ややきらい
□きらい

2

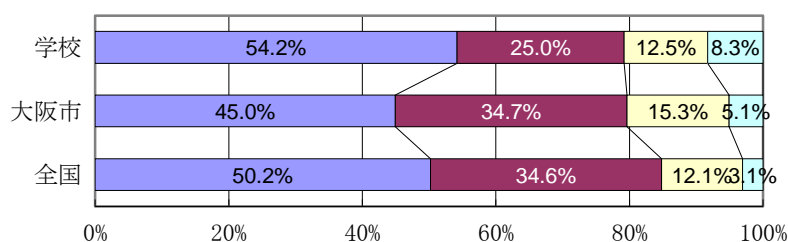
自分の体力に自信がありますか



□自信がある
■やや自信がある
□あまり自信がない
□自信がない

3

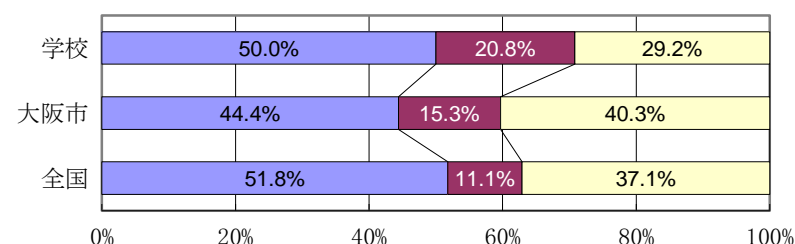
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



□大切
■やや大切
□あまり大切ではない
□大切ではない

4

中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□思う
■思わない
□分からない
□

成果と課題

「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対する肯定的な回答は高い。「自分の体力に自信がありますか」に対する回答は二極化している。運動やスポーツが大切、中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思う生徒の割合は全国平均を上回り、運動への興味・関心が高く、運動の重要性についても十分理解していると考えられる。

今後の取組

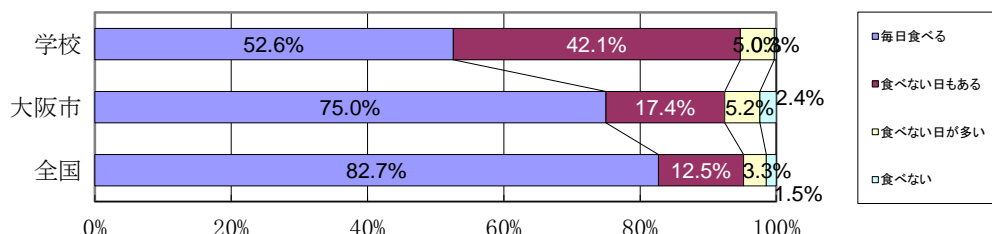
運動に対する興味・関心は高い。自分の体力については自信が持てない生徒もみられる。体育の授業や体育的行事には積極的に参加しており、達成感や成就感が自身につながるよう働きかけを行う必要がある。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号 質問事項

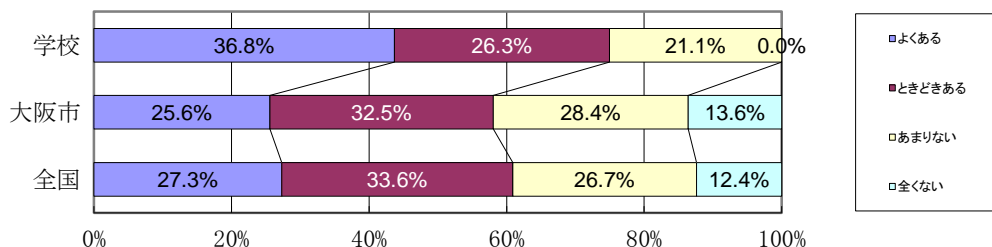
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



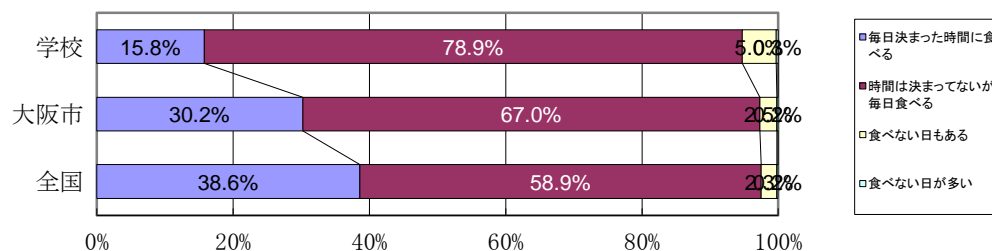
12

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか



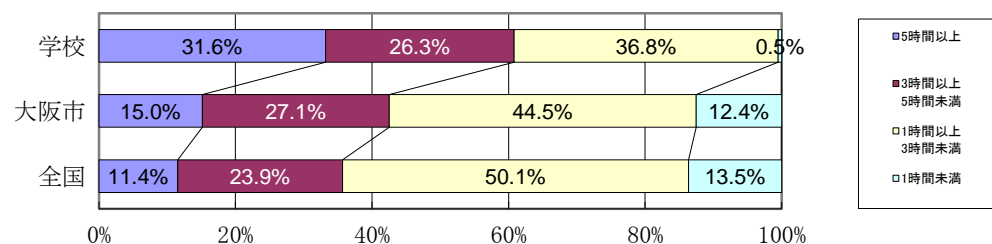
7

夕食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含める)



9

ふだんの平日(月～金曜日)について聞きます。1日にどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲームをする時間は除く)



成果と課題

朝食を毎日食べている生徒の割合は、全国平均に比べてかなり低い。夕食も毎日きまった時間に食べる生徒の割合は低い。平日にテレビやビデオ・DVDに費やす時間は全国平均より多い。これらのことから時間の使い方や生活習慣に課題のある生徒が見うけられる。

今後の取組

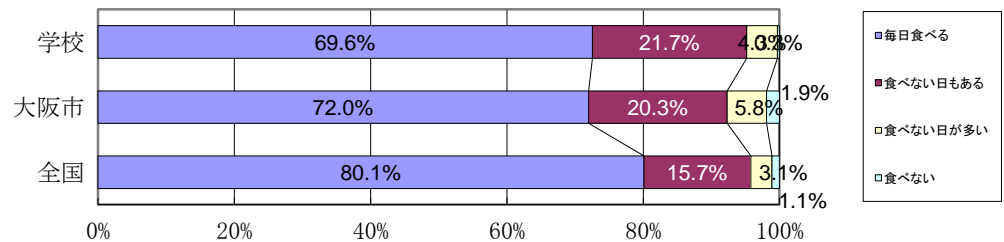
生徒の健康に対する関心は強い。また、アンケート等から健康について学ぶ機会も多いと感じており、今後、健康維持と体力向上のため「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みを推進する。

ふだんの生活について（女子）

質問 番号 質問事項

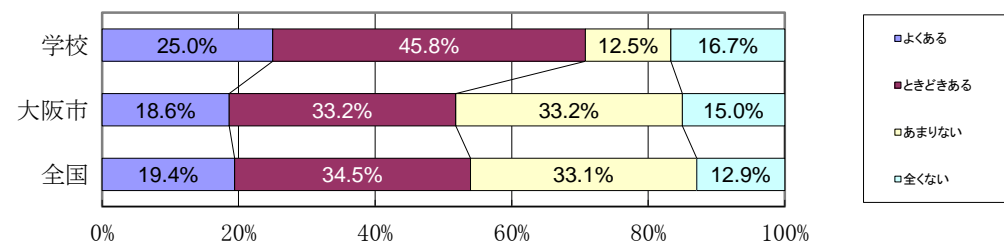
6

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



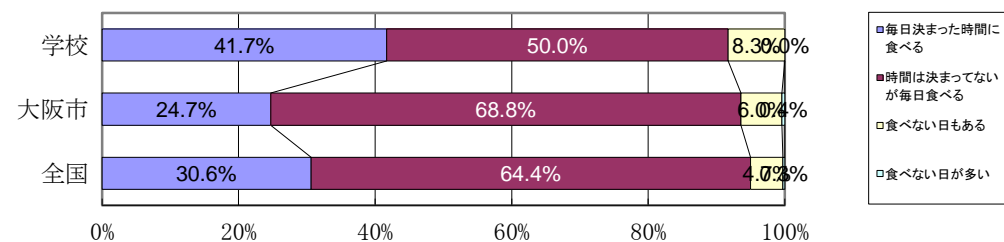
12

家の人から運動やスポーツ
を積極的に行うことを勧められ
ることがありますか



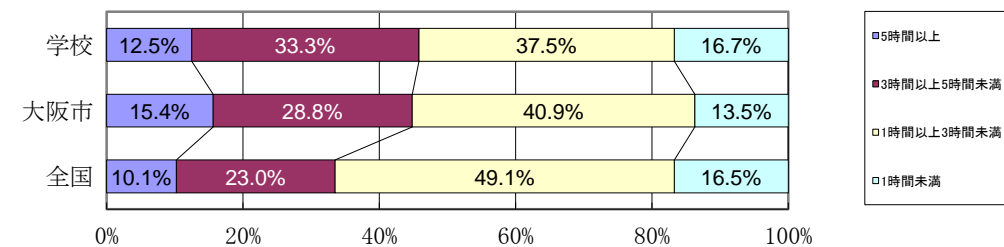
7

夕食は毎日食べますか。
(学校が休みの日も含める)



9

ふだんの平日(月一金曜日)に
ついて聞きます。1日にどれく
らいの時間、テレビやビデオ・
DVDを見たり、聞いたりします
か(テレビゲームをする時間は
除く)



成果と課題

朝食を毎日食べている生徒の割合は、全国平均に及ばないものの男子に比べ多い。夕食は毎日きまった時間に食べる生徒の割合が全国平均より高い。平日にテレビやビデオ・DVDに費やす時間は全国平均よりは多いが大阪市平均と同程度である。

今後の取組

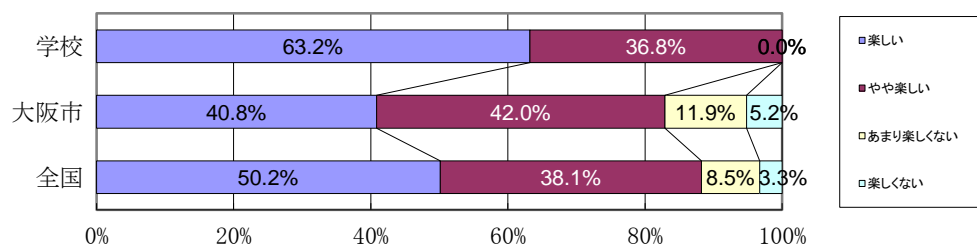
生徒の健康に対する関心は強い。また、アンケート等から健康について学ぶ機会も多いと感じており、今後、健康維持と体力向上のため「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みを推進する。

保健体育の授業について（男子）

質問 番号 質問事項

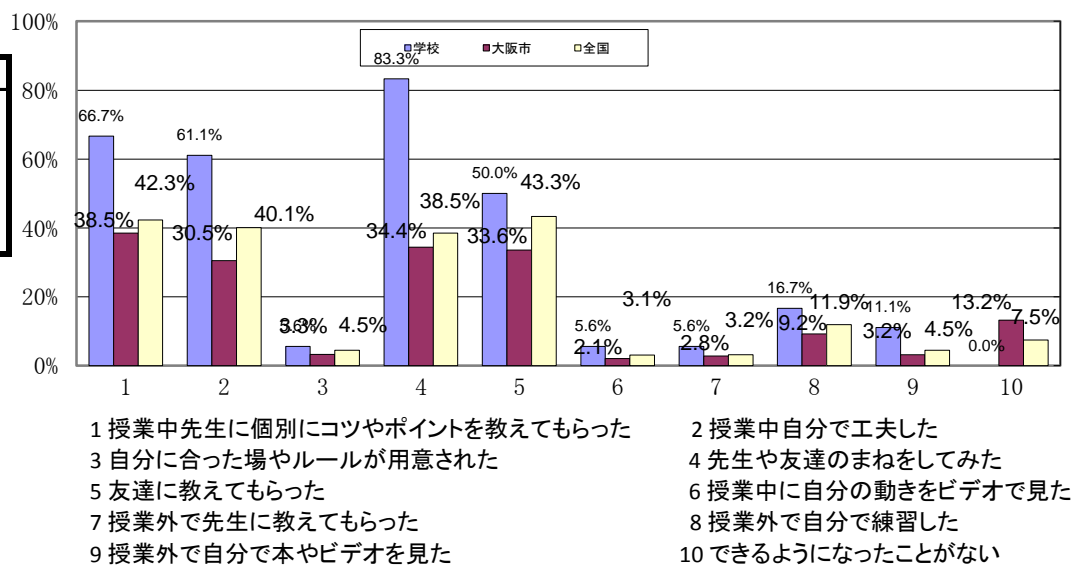
16

保健体育の授業は楽しいですか



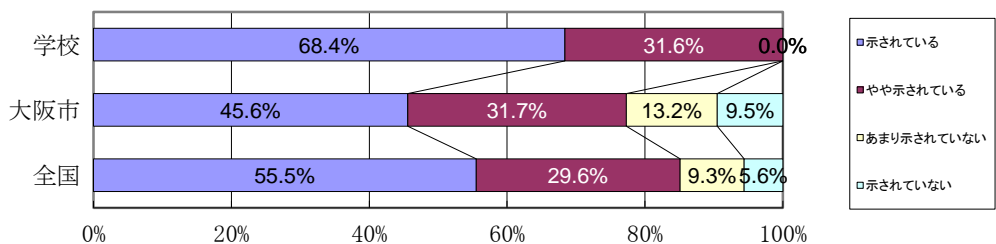
21

これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



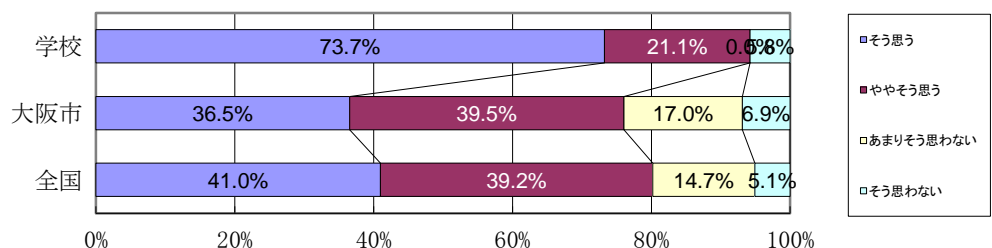
17

ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標(目当て・ねらい)が示されていますか。



23

今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

「保健体育の授業が楽しいですか」に対する肯定的回答が100%である。生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた丁寧な指導に取り組んだ成果と考えられる。「体育の授業でできなかったことができるようになった」きっかけとして、先生に個別にコツやポイントを教えてもらったり、先生や友達のまねをした生徒の割合が全国平均よりかなり高い。

今後の取組

「ふだんの保健体育の授業では授業のはじめに目標が示されていますか」「今、保健体育の授業で学習している内容はあなたの将来に役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全国や大阪市平均よりかなり高い。今後も充実した魅力ある体育の授業を継続していく。

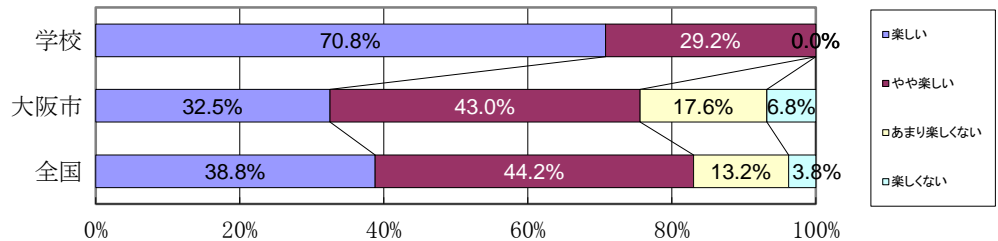
保健体育の授業について（女子）

質問
番号

質問事項

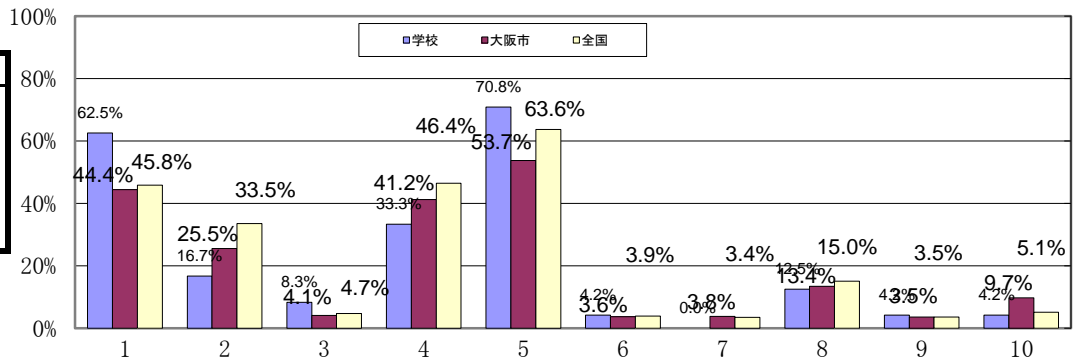
16

保健体育の授業は楽しい
ですか



21

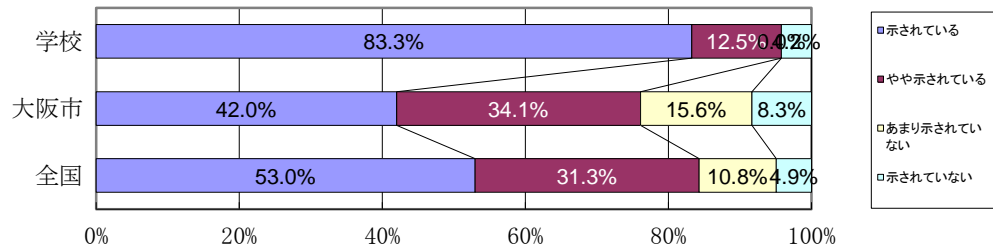
これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 授業中自分で工夫した
- 自分に合った場やルールが用意された
- 先生や友達のまねをしてみた
- 友達に教えてもらった
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で練習した
- 授業外で自分で本やビデオを見た
- できるようになったことがない

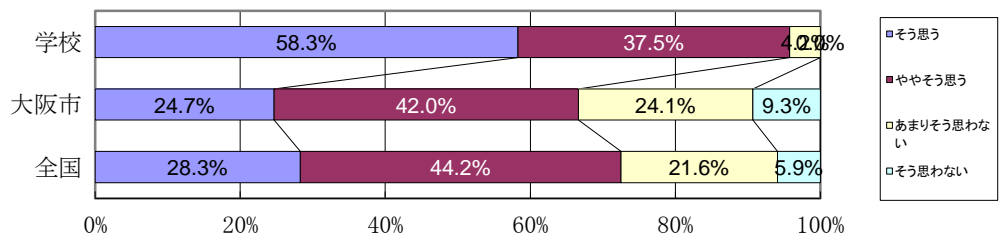
17

ふだんの保健体育の授業
では、授業の始めに授業の
目標(目当て・ねらい)が示さ
れていますか。



23

今、体育の授業で学習して
いる内容は、あなたの将来
に役に立つと思いますか。



成果と課題

「保健体育の授業が楽しいですか」に対する肯定的回答が100%である。生徒の興味・関心を引き出し、個に応じた丁寧な指導に取り組んだ成果と考えられる。「体育の授業でできなかったことができるようになった」きっかけとして、先生に個別にコツやポイントを教えてもらったり、先生や友達のまねをした生徒の割合が全国平均よりかなり高い。

今後の取組

「ふだんの保健体育の授業では授業のはじめに目標が示されていますか」「今、保健体育の授業で学習している内容はあなたの将来に役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全国や大阪市平均よりかなり高い。今後も充実した魅力ある体育の授業を継続していく。

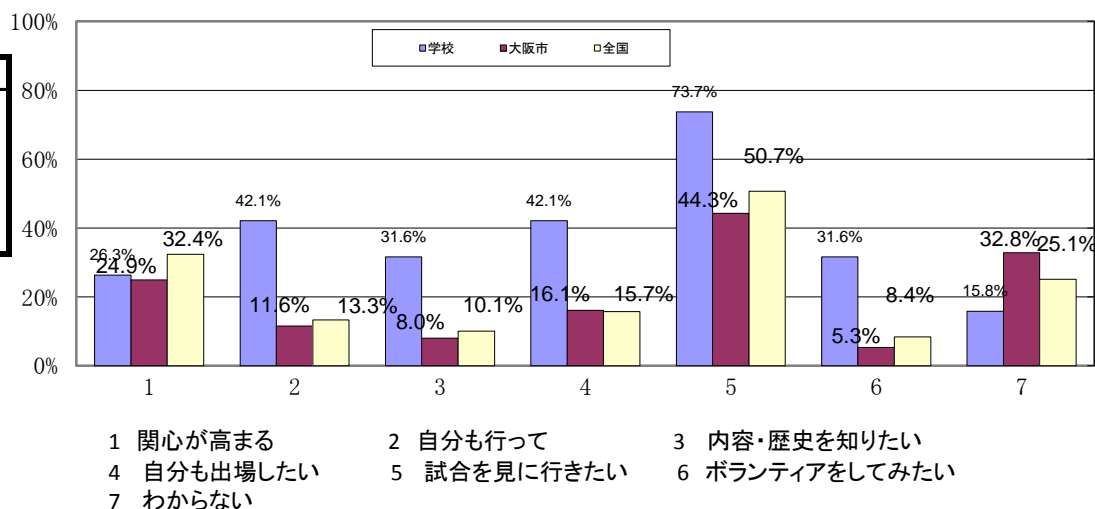
その他（男子）

質問
番号

質問事項

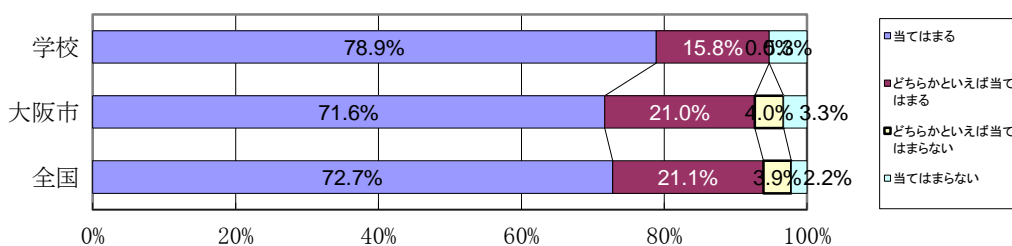
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの気持ちとして、「自分も行って」「自分も出場したい」「試合を見に行きたい」等の割合が高く、関心の高さが伺われる。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックへの関心は高い。運動への興味・関心が将来へつながっていくような効果的な取り組みを工夫する。

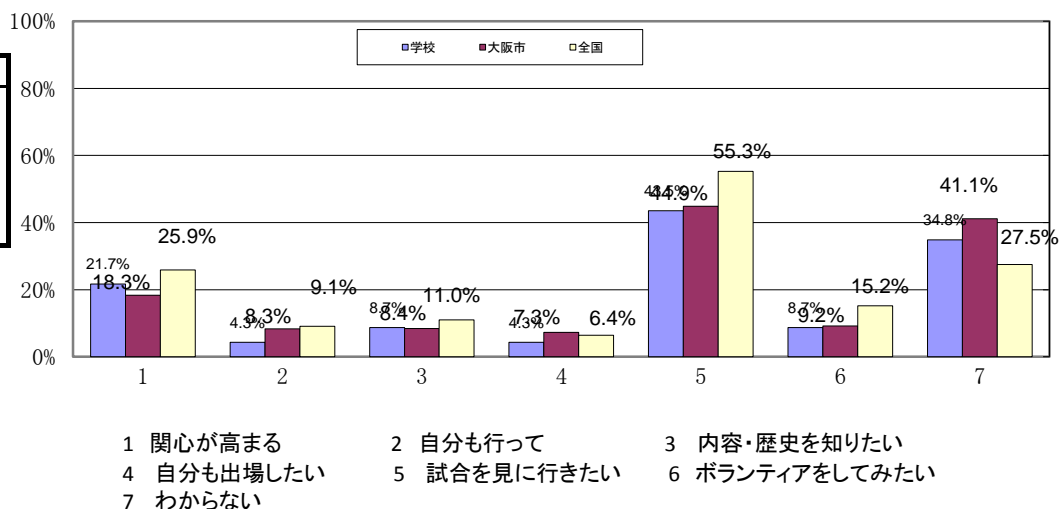
その他（女子）

質問
番号

質問事項

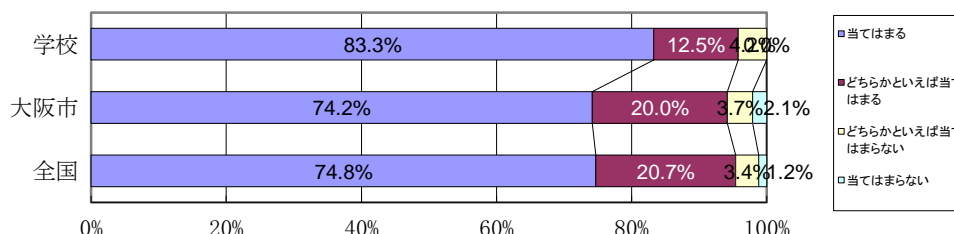
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの気持ちとして、「自分も行つて」「自分も出場したい」「試合を見に行きたい」等の割合が男子に比べると低く、いまひとつ関心が薄いように思われる。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるような、また、運動への興味・関心が将来へつながっていくような効果的な取り組みを工夫する。